

令和元年度第1回 駒ヶ根市地域公共交通協議会 会議録

令和元年8月26日（月）午後3時30分～
駒ヶ根市役所 南庁舎 2階 大会議室

【出席委員】20名（欠席：北原和雄委員）

1 開会（企画振興課長）

2 委嘱状交付

遠藤和彦（北割1区区長）委員に代表して交付

3 会長あいさつ

○昨年度は、5カ年計画である「網形成計画」の中間年度でありました。この中間年度の評価を十分検証し、今年度の事業を実施してまいります。

○併せて、国においては、AIや自動運転等の新たな技術を活用した実証実験を行い、また定額タクシーなどの新制度導入の検討も進められています。国や県からも情報をいただきながら、駒ヶ根市における課題解決に繋がるような技術や新制度については、十分検証をしながら積極的に導入の検討をしたいと思っております。

○本日は、平成30年度の事業報告及び決算報告と、今年度の取り組みの状況等をご説明し、協議をいただきます。

○飯島町の「いいちゃんバス」の駒ヶ根市内沿線上への停留所設置につきましては、昨年度、駒ヶ根・飯島の両協議会において検討を進める旨の合意をいただき、飯島町と具体的な協議を進めてまいりました。本日は、この停留所の具体的な設置箇所につきましてもご協議いただきます。本日、設置箇所につきましてご承認いただきますと、早ければ11月頃には試験運行が開始できる見込みです。

○委員の皆様には、地域の公共交通全般や環境整備も踏まえ、ご意見等を頂戴したいと思いますのでよろしくお願ひします。

4 協議事項

（1）平成30年度事業報告、決算報告及びこまタク運行・割引タクシー券等の実績 資料1 資料2

（監査報告：坂井監事）

<伊藤道夫委員>

運行実績の年度の変化は細かく分かるが、当初はどのくらいの利用目標を設定したのか。

<事務局>

利用登録者数の目標は1,300人以上、総利用者数目標は月平均600人以上としている。H25年開始

当初は1,100～1,200人であったが、目標を達成するたびに目標変更してきている。

<会長>

提案のとおりご承認いただけるということでよろしいでしょうか。

⇒ 異議なし（承認）

（2）駒ヶ根市地域公共交通網形成計画の設定目標に対する評価 資料3

（質疑等なし）

<会長>

達成状況が未実施となっているものについては、本年度取り組む事業もあります。初期の目標を達成できるように、引き続き4年目の事業に取り組んでいきます。

（3）いいちゃんバス市内沿線の停留所設置予定地の承認について 資料4

<伊藤道夫委員>

資料4のP1(2)に「一定のニーズがあることを確認」と記載があるが、どのくらいのニーズがあることを確認したのか。

<事務局>

H29年に沿線住民500人を対象にアンケート調査を実施し、回答結果(回答率52%)より66%の利用見込みがあると確認した。

今回の停留所設置にあたって、料金収入・運行費用負担は飯島町となり、駒ヶ根市内停留所設置費用、時刻表、市内広報関係の経費は駒ヶ根市が負担する。

<坂井昌平委員>

行政区を跨いで公共交通運行は反響が大きいと聞いているが、県内や全国で前例はあるのか。

<事務局>

伊那市、箕輪町、南箕輪村の3つの市町村で定住自立圏という特別なエリアでのケースはある。今回のケースは、飯島町、駒ヶ根市のそれぞれの協議会で調整、承認しているケースとなるため、珍しいと思われる。

<運輸局>

一つの行政区域では立ち行かなくなっている。効率化を図っていく方向で協議を進めているところもある。2つの自治体を跨いで運行しているケースは、県内には若干ある。

<会長>

それでは、ご承認いただける方は挙手をお願いします。

⇒ 全員挙手（承認）

<会長>

駒ヶ根市公共交通協議会として、いいちゃんバスの駒ヶ根市内沿線の停留所設置予定地として承認いたしました。今後、停留所設置に係る申請につきまして、本協議会と飯島町交通会議の確認書を添付して申請手続きが進められますのでご承知おきください。

5 報告事項

(1) 駒ヶ根市地域公共交通網形成計画に基づく事業支援業務委託内容の状況について 資料5

<会長>

定額タクシーについて、タクシー会社の方で何か情報はありますか。

<久保田委員>

まだ具体的にはなっていない。

<坂井委員>

定額タクシーについて、詳しく説明して欲しい。

<特非SCOP 富樫>

昨年度の実証実験はまだまとまっていない状況。簡単に言うと「月額3万円払えば、1ヶ月間乗り放題になる」というもの。住んでいる範囲、回数設定などを設けるため、金額はそれによって変わってくる。今後、国の実証実験の結果を踏まえて検討する。

<長野県>

昨年、諏訪でJTBと実証実験を行って結果を取りまとめている。提携タクシーは、高齢者の足の確保に非常に効果があると考えているので、今後検討していきたい。

<会長>

色々な取り組みが進んでいる。定期、定額ができれば、タクシーについて使い方が良くなると思う。業務委託する中で検討し、提供していきたい。

6 その他

<会長>

本日予定している協議事項は以上ですが、全体を通してご意見があればお出しください。

運輸支局、長野県より情報提供があればお願いします。

<上伊那地域振興局>

地域振興推進費の予算を使い、8年後のリニア開通を見据え、観光客の二次交通をどのようにしていくか、観光タクシーの実証実験を実施する。大学と連携し、観光専門学部の学生にモニターしても

らい、評価した後、数年後の商品化に結び付ける計画。1 段目として、伊那市の伊那谷観光局と駒ヶ根観光協会で連携し、2 コースずつ、全 4 コースの内 2 コースを廻り、意見、評価をもらい、来年以降の実験に活かしていく。駒ヶ根市でも観光タクシーの計画があると聞いているので、結果を共有して連携していきたい。

7 閉 会（企画振興課長）

【終了時間：16時20分】